

「自動操舵システム、収量センサ付きコンバイン」+「新品種の導入による品種構成の見直し」

<取組概要>

水稻において、新品種の導入による品種構成の見直し等により作期分散を行うとともに、直播栽培、自動操舵トラクタや収量センサ付きコンバインの稼働面積の拡大を図り、労働生産性の更なる向上を実現。

<申請者>

株式会社西部開発農産（岩手県北上市）

◆経営概況（2025年6月時点）

経営規模：水稻 309ha、大豆 354ha、
小麦 236ha、牧草 46ha 他

従業員数：101名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



大型農機と事務所を背景に従業員の
集合写真



RTK自動操舵とコンビネーションドリル播種
作業（複合作業による効率化）

～認定を受けて一言～

今回の認定を受けて、弊社では自動操舵トラクタや収量センサ付きコンバインといったスマート農機を、栽培規模拡大を進めている直播栽培向けを中心に導入することで、機械作業による効率化、労働力の平準化、生産コストの削減を図るとともに、現場におけるスマート農業技術の実装モデルを確立したいと考えております。また、本取組を通じて、地域の若手農業者や担い手候補者への技術継承と人材育成の場を創出し、農業の魅力発信にもつなげていきます。

今後も、地域に根ざした農業振興とともに、農村地域の活性化にも貢献できるよう、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。